

フィンランドと日本の生活デザイン展『木の椅子』 関連企画について

小海町高原美術館にて2011年4月16日より、「フィンランドと日本の生活デザイン展『木の椅子』」が始まっています。ここでは企画概要、および6月中旬に行われる関連イベントについてご案内いたします。

【フィンランドと日本の生活デザイン展『木の椅子』】

- ・ 会場：小海町高原美術館
長野県南佐久郡小海町豊里5918-2
Tel : 0267-93-2133 <http://www.koumi-town.jp/museum/>
- ・ 会期：2010年4月16日(土)～7月3日(日)
- ・ 開館時間：9時～17時、休館日：火曜日
- ・ 主催：小海町高原美術館 共催：小海フィンランド協会
- ・ 企画協力：NPO東京・生活デザインミュージアム
- ・ 企画監修：島崎信(武蔵野美術大学名誉教授)

展示構成

1. フィンランドの木の名作椅子

出品作家: アルヴァ・アアルト、アンティ・ヌルメスニエミ、イルマリ・タピオ ヴァーラ

2. フィンランドの今日の木の椅子

出品作家: カリ・アシカイネン、ハッリ・コスキネン、ユハニ・マンネル、カリ・ヴィルタネン

3. 日本の木の名作椅子

出品作家: 川上元美、長大作、豊口克平、ジョージ・ナカシマ、水之江忠臣、松村勝男、柳宗理、渡辺力

4. 日本の今日の木の椅子

出品作家: 朝山隆、伊藤嘉康、猪俣一博、上山隆久、坂本茂、杉村徹、須田修司、高村徹、木内明彦、野木村敦史、藤井慎介、古谷禎朗、法嶋二郎、迎山直樹、森明宏、守屋晴海、吉野崇裕

5. 小海町近隣のウッドワーカー

出品作家: 井出正(木工房アマナ)、高橋敦(家具製作ゆずりは)

関連イベント

■6月17日(金) 「映像で知るフィンランド」

講師：島崎 信(本展監修者、武蔵野美術大学名誉教授)

1. 場所：美術館映像室 時間：13:30 -15:30
「フィンランド自然と暮らし」
2. 場所：美術館映像室 時間：16:30 -18:30
「フィンランドの生活と建築デザイン—アアルトの建築を中心に」

フィンランド外務省よりフィンランド大使館に送られてきている映像の中から選んで編集しました。元の説明はフィンランド語、及び英語でふきこまれているが、今回は島崎信氏が映像に合わせて弁士を務めさせていただきます。フィンランドと聞くと遠く感じるかもしれませんが、実は日本と似ているところも多くあります。遠くて近いフィンランドを映像と解説でご紹介します。

6月18日、19日の2日間は第一線で活躍する木工作家の方を講師に迎え、木工家としての考え方や体験と、実際の制作方法などについてご紹介させていただきます。また木工作家のこれからの方向性について考えます。

■6月18日(土)

3. 場所：美術館映像室 時間：11:00 -12:00
講演会「フィンランド、フィスカルスヴィレッジの木工事情」
講師：永野智士

フィスカルスヴィレッジ在住のフィンランドの高名な木工作家カリ・ヴィルタネンの下で、約3年あまりフィンランドの木工の技術と心を修得されて、日本で創作活動をされている永野智士氏に、お話をお聞ぎします。

4. 場所：美術館映像室 時間：14:30 -16:30
ワークショップ「私の椅子の制作手法—座繰りを中心に」
講師：伊藤嘉康

座りやすい木の座面、木の背もたれの椅子を作る伊藤嘉康氏。その椅子作りを、座繰りを中心に実技を通してお話いただけます。

■6月19日(日)

5. 場所：美術館映像室 時間：9:30 -11:30
ワークショップ「チェアーフィッティング」
講師：吉野崇裕

座る人それぞれの体、骨格に合わせたオンリーワンの座り心地の椅子を追求する考え方と手法を、自作のチェアーフィッティング測定器とともにお話いただけます。

6. 場所：美術館映像室 時間：13:30 -17:00
シンポジウム「これから木工家は何を目指すか」
—自己満足の家具作りから踏み出す—
パネラー：朝山隆、伊藤嘉康、杉山裕次郎、野木村敦史、高村徹、永野智士、迎山直樹、守屋晴海、吉野崇裕
スペシャルゲスト：島崎 信

各パネリストが木工家として関わるプロジェクトを紹介しながら、木工作家としてのこれからの方向性をお話させていただきます。またパネリスト間の活発な討議をしていただきます。

申し込み方法

- 1.～6. 各回ともに事前の申し込みは不要です。参加費は無料です。開始時間までに会場・美術館内の映像室へお集まりください。

(注) 講師、出品作家、それぞれ敬称は略させていただきます。